

# とうきょう すくわく プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

## ありんこ保育園 実践紹介！

### とうきょう すくわくプログラムってなに？

幼稚園や保育所において、子供たちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子供たちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。

すくすく

すべての乳幼児の  
伸びる・育つ

×

好奇心・探究心

を応援する幼保共通のプログラム

東京都

## 「非認知能力」の育成等、乳幼児の成長・発達をサポート

なんで？

どうして？

できるかな？

こうしてみよう！

できた！

今度はあれを  
やってみようかな



好奇心を持つ  
きっかけを増やす



考えを広げる



考えを深める

## すくわくプログラムはどんなことをするの？

安全安心な環境のもと、子供たちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、好奇心を持つきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

### 非認知能力とは

自己に

かかわる心の力

- 自尊心
- 自己肯定感
- 意欲
- 粘り強さ

社会性に

かかわる心の力

- 心の理解能力
- 共感
- 思いやり
- 協同性

テーマに関する子供たちの考えやイメージを引き出すための問い（例：〇〇ってなあに？）を考え、素材や道具を準備し活動を行います。

テーマ例：光・色・自然・音・泥遊び・絵本など

### 豊かな心の育ちを応援

乳幼児期は、「非認知能力」を培う大切な時

東京大学大学院 教育学研究科 教授 同附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) 長 遠藤 利彦

子供が伸びやかに成長していくためには、無限大の好奇心に従って、心躍らせながら遊び学ぶことが重要です。また、同年代の子などと互いの個性を認め合いながら、1つのことに協力して取り組むことも大切です。この認識のもと、東京都と CEDEP は、「とうきょう すくわくプログラム」の支援に連携して取り組んでいます。



とうきょう すくわくプログラムは  
こちらからご覧いただけます。

とうきょう すくわくプログラムは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) との協定の下、東京都の「とうきょう すくわくプログラム推進事業」として策定したものです。



認可保育所 ありんこ保育園

電話

042-551-2032

所在地

東京都福生市  
加美平 1-17-7



# ありんこ保育園で

3歳～5歳児  
クラス



## とうきょうすくわくプログラムに取り組みました

### テーマ 森歩き

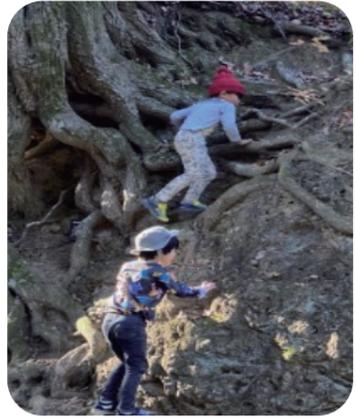
月に3回程度、園の定期行事として、山や森などの自然の中で1日を過ごす「森の教室」を行っています。この「森の教室」を通して、自然への興味をさらに深めるため、「森歩き」をテーマとしました。

#### 活動① 森を歩いてみよう

3歳から5歳の異年齢のグループに分かれ、森歩きをしました。



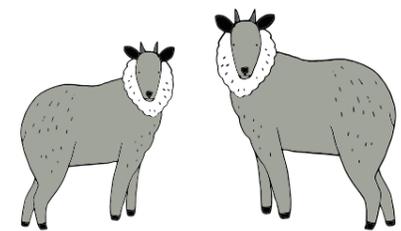
子供たちの興味をもとに、森の中の様々な自然に触れました。



枝や葉っぱ、根っこなどにつかまりながら斜面を登るなど、整備されていない道を好んで歩いていく姿が見られました。

#### 活動② 森の中での出会い

冬イチゴを見つけて食べたり、カモシカに出会ったりなど、森の中ならではの発見を楽しみました。



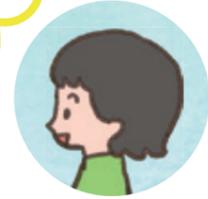
#### 活動③ やまびこはなぜ聞こえるの？

やまびこを様々な場所で試し、なぜやまびこが聞こえるかを考えました。

あっち（やまびこが聞こえた方向）にやまびこさんがいる



みんなで声を合わせると響く



富士山に当たって返ってきている



#### 活動を通して

ありんこ保育園の子供たちは、「森の教室」として、定期的に山や川に出かけ、いろいろな体験をしています。

すくわくプログラムとして捉え直すことで、これまで、当たり前になっていたこと、見過ごしがちだった部分や、慣れていて気にしなかったことも、意識的に「何の音？」と問いかけることで、子供たちの考えを引き出すことができました。

